

愛は南から

町に響く

素敵な人たちを紹介します

この経験を糧にして

世界を舞台に活躍したい！

町内の中学生14名が8月、海外研修事業でオーストラリアを訪問しました。現地の家庭にホームステイしながら小学校に通い、英語を駆使して異文化や国際交流への理解を深めました。

一本松中から研修に参加した3名は、先輩や先生の話を聞いて海外に興味を持ったといいます。研修で学んだことや将来の夢などについてお聞きしました。

一本松中学校 3年生



木築 虹子さん



吉田 香菜子さん



黒萩 亜明さん

英語でうまく会話できましたか？

黒萩 ホームステイの初日は食事のときも向こうの家族が何を言っているか分からず、黙って聞くことしかできませんでした。でも、だんだんと耳も慣れてきて、後半には自分の言いたいことを伝えられるようになりました。

吉田 常に笑顔でいることを心掛けました。私が話す英語が下手でも、ゆっくりでもホストファミリーはちゃんと聞いてくれました。

木築 初めは習ったはずの英語が聞き取れず、電子辞書に頼っていました。途中からは何となく聞き取れるようになりました。

海外研修で得たことは？

黒萩 もともと人前で発表することが苦手で、不安や緊張がありました。自分の考えを伝えることの大切さやコミュニケーションの楽しさを知ることができ、授業での挙手の回数も増えました。英語がコミュニケーションのための手段だと分かり、英語の本当の



夢に向かってジャンプ？（現地のビーチにて）

楽しさを知ることが出来たように思います。

吉田 小さいことを気にしたり、周りの目が気になる性格でした。でも、現地の方がとてもおおらかで、失敗しても許してくれ、励ましてくれたので、周りの目を気にし過ぎずに自分の言いたいことが言えるようになりました。これまではテストで良い点を取るために勉強していましたが、今は自分の将来の夢のために、そしてもう一度海外に行きたいという目標のために英語を学習しています。

木築 困難なことや壁にぶつかったとき、前向きに解決策を考え、頑張るものごとに取り組めるようになりました。そして、英語を楽しみながら学びたいと思いました。流ちょうに話すよりも、自分の言い

たいことをしっかりと伝えることが大切だと思います。

将来の夢

黒萩 将来は英語の先生になって、コミュニケーションの楽しさを生徒に伝えたいです。英語を嫌いにならずに、今の自分が英語を楽しんでいるように、英語を好きになってもうえたら良いと思います。

吉田 海外で映像を撮影し、英語で取材をして、海外のことを日本の方たちに紹介したいです。海外の良さを伝えて、日本人の考え方が国際的になっていくような仕事がしたいです。

木築 英語を勉強しているうちに、英語を話す人たちの国民性が知りたくなり、英語や海外のことに興味を持ちました。海外のことを学びつつ、日本の良さも海外に伝えられるような仕事に就きたいと考えています。

3名はこの研修を通じて、英語を学ぶ目的が明確となり、学習意欲が高まったようです。また、お世話になったホストファミリーをもう一度訪ねて、今度はしっかりとした英語でお礼が言いたいそうです。具体的な将来の夢も見えてきており、今後の活躍が期待されます。